

■教育目的

薬学出身者は、医療の供給における経済的な側面を理解し、医療費の適正化と効率的な運用に貢献することが求められる。このため、社会保障制度と医療保険制度のしくみ、医療費の構成、薬物治療の経済評価手法などを学ぶ。あわせて、薬事関連法規・制度の最近の改正点や要点についても学習する。【卒業認定・学位授与の方針：SD-③】

■学習到達目標

1. 社会保障制度と医療保険・介護保険制度のしくみを理解する。(知識、技能)
2. 医療費の構成、薬物治療の経済評価手法などを理解する。(知識、技能)
3. 薬事関連法規・法規の改訂点等について確認する。(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書、参考書、配布プリントの該当部分に目を通しておく（30分以上）。

復習：講義内容を復習するとともに、関連事項について自分で調べてみる（30分以上）。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	社会保障制度と医療保険制度	社会保障制度のしくみ、医療保険制度の成り立ちと役割、医療保険の種類と現状	B-3-2-1, B-3-2-2
2～3	保険医療のしくみ	保険医療機関・保険薬局、保険医・保険薬剤師。保険給付の意味と医療費の請求	B-3-2-3, B-3-2-4
4～5	診療報酬・調剤報酬と薬剤師	診療報酬・調剤報酬・介護報酬と薬剤師の業務の関わり・かかりつけ薬局・薬剤師	B-3-2-6
6	高齢者医療保険と介護保険	後期高齢者医療保険制度、介護保険制度、地域包括ケアシステム	B-3-2-5, B-3-2-7
7	医療費の内容と動向	国民医療費、医薬品市場	B-3-3-1, B-3-3-2
8～9	薬価制度	薬価基準制度、後発医薬品	B-3-3-3
10～12	薬剤経済学	薬物療法の経済評価、持続可能な医療制度	B-3-3-4～B-3-3-7
13～15	薬剤師を取り巻く法律と制度	薬事関連法規・制度における最近の改正事項、薬事関連法規・制度の要点の整理	B-1, B-4

■授業分担者

尾上 洋(No.1～6)、赤沢 学(No.7～12)、廣瀬 誠(No.13～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明を行う。期末試験（80％）および課題（20％）で評価を行う。

■教科書

- ①『薬事関係法規・制度 解説』 薬事衛生研究会 編（薬事日報社）
- ②講義プリント（電子的な掲示物を含む）

■参考書

- 『薬事衛生六法 学生版』（薬事日報社）
『スタンダード薬学シリーズⅡ 薬学総論 Ⅱ. 薬学と社会』日本薬学会 編（東京化学同人）
『薬事法規・制度・倫理マニュアル 改訂14版』亀井美和子ら 編（南山堂）

■その他

薬学科6年生(必修科目)との合同授業